

## はじめに

和歌山県環境衛生研究センターは、本県の環境および保健行政を科学的・技術的に支える中核試験研究機関として、試験・検査、調査研究業務や技術指導・研修および情報の収集・解析・発信を行うほか危機事象発生の際に迅速に対応できるよう日々業務を行っています。

さて、当センターは現施設が建築後約 50 年を経て老朽化してきたことに加え、新型コロナウイルス感染症を契機に健康危機管理体制の整備推進（検査機能の強化）を図る必要が生じたことから、令和 3 年度和歌山県新政策事業として再整備（新センター建設）がスタートしました。基本・実施設計や地質調査等を経て、令和 5 年度から現施設隣の県有地にて建設工事が進められ、このほど完成したところです。新施設では感染症分析用の高度安全実験室（P 3）の増床や、検査目的別に検査室を細分化・区画化するなど、ハード面の機能強化が図られました。

センター再整備後は、ソフト面の機能強化として、健康並びに環境保全・公害防止に係る危機事象に迅速・的確に対応できる組織・人員体制の強化を図るとともに、他研究機関等との共同研究をはじめとする調査研究や情報発信機能の一層の強化に努め、県民が健康で安心して暮らせる快適な生活環境の実現に寄与してまいります。

ここに、令和 5 年度の業務・業績を取りまとめましたので、関係者の皆様に御高覧いただき、御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 1 2 月

和歌山県環境衛生研究センター  
所長 村上 毅